

「岩泉町体育協会の取り組み」

岩泉町体育協会は、昭和32年5月1日任意団体として発足し、現在は23の種目別協会及び旧村単位に5支部が組織され活動しているところがある。

種目別協会では、年間通して町内大会の開催や岩手県民体育大会等に出場している。県民体育大会に向けての結団式では、選手が種目別競技のユニホーム姿で集い決意表明し、岩泉町長から町旗の授与を受け、参加意識の高揚を図っている。

野球協会では「全国スポーツ少年団軟式野球交流大会岩手県予選大会」を岩手県野球協会のご配慮により長年に渡り開催している。平成28年、台風10号豪雨災害により主会場の岩泉球場が被災するも、野球協会関係者の努力により大会は当町で継続・開催されている。

連携事業

1、岩泉町スポーツ指導者協議会との連携

岩泉町スポーツ指導者協議会は、昭和46年に有資格者28人で県内市町村で一早く組織化、当協議会と密接に連携し、プレイヤーが安心して活動できる環境整備に努めている。



2、スポーツ少年団との連携

当町スポーツ少年団は、7団が活動しており、団員はごみ拾い等地域貢献活動に努める他、指導者と保護者合同の研修会や少年団冊子「ちゃれんじのTAMAGO」を発行(25号)により絆を深めているところである。



3、総合型スポーツクラブとの連携

岩泉町総合型スポーツクラブは平成25年4月1日に事業を開始。現在会員328人28種目の教室を開催している。教室参加者は幼児から高齢者におよぶ他、地域、学校及び子ども園からの要請により「出前講座」も実施、高い評価を得ている。



今後の取り組み・課題

現在任意団体である当協会は、岩泉町からスポーツ施設の指定管理を受託していたが、施設管理上から生ずる事故等の対応に問題が予想されたことから受託を返上している。

しかし、スポーツ施設利用者の声や体育協会事業の拡大等考えるとき、指定管理を受託することが望ましく思われ、現在法人化に向け検討しているところである。

また、台風10号により被災した陸上競技場やサッカー場及びパークゴルフ場の復旧・復興に向け、施設の再整備について岩泉町当局に強く要望し最大限の努力を図っている。